

2025年9月22日

第79回全日本体操団体選手権 第79回全日本体操種目別選手権 大会要項

主 催：（公財）日本体操協会
主 管：群馬県体操協会
後 援：高崎市・高崎財団・（一財）上月財団
協 賛：テーブルマーク・日本航空・三菱地所・ミズノ・セイコーホールディングス
セノー・JTB・近畿日本ツーリスト・関電工・ダスキン

1. 期 日

2025年11月11日(火)～16日(日)
11月11日 (火) 会場設営
会場練習
11月12日 (水) 会場練習
オリエンテーションミーティング
11月13日 (木) 審判会議
男子・女子種目別予選
11月14日 (金) 男子・女子団体決勝(1班)
11月15日 (土) 男子・女子団体決勝(2班)
11月16日 (日) 男子・女子種目別決勝

2. 会 場

高崎アリーナ 〒370-0846 群馬県高崎市下和田町4丁目1-18

3. 参加資格と条件

【参加資格】

(1) 男子

- ① 2025年度開催の下記大会の成績により出場権を与えます。
- ② 年齢制限は、中学3年生以上とします。

◆団体選手権

表1 男子団体選手権通過基準		チーム数
①	「全日本シニア体操競技選手権」と「全日本学生体操競技選手権1部・2部」の得点を並べる ※ 大会結果とは別に6-6-3方式で通過順位を決定する	12
②	令和7年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)上位2チーム	2
③	2025全日本ジュニア体操競技選手権(1部)上位 1 チーム	1
④	U20ナショナル選抜チーム 1 チーム	1

- * チーム登録選手は8名まで(補欠を含む)とします
- * ①の大会において、団体戦が成立しなかった場合(チーム解体)は選出対象としない
- * ④U20ナショナルチームが編成できない場合は、①の次点のチームに出場権を与える
- * 同点の場合のタイブレークは、FIG 競技規則に準ずる

◆種目別選手権

表2 男子種目別通過基準(各種目予選36名)		出場者数
①	シード選手(最大2名) 第53回世界体操選手権種目別決勝進出者(該当種目)	
②	対象7大会において種目別国内ランキングを作成し、上位28名に出場資格を与える	28名
③	映像審査(跳馬以外)	8名
④	映像審査(跳馬)	36名

* シード選手は、予選に出場しない

* シード選手(世界選手権種目別決勝進出者)がいた場合、映像審査の次点者から繰り上げる

* 跳馬は種目別ランキングを設けない

ランキング対象大会

① 第79回全日本体操個人総合選手権 予選

② 第79回全日本体操個人総合選手権 決勝

③ 第64回 NHK 杯体操1日目

④ 第64回 NHK 杯体操2日目

⑤ 2025全日本ジュニア体操競技選手権大会1部

⑥ 第79回全日本学生体操競技選手権大会1部・2部

⑦ 第57回全日本シニア体操競技選手権大会

* 同点の場合のタイブレーク

(1) 得点が同点の場合、Dスコアの高い選手を上位とする

(2) Dスコアが同点の場合、Eスコアの高い選手を上位とする

(3) さらに同点の場合、ランキング対象大会における次に高い得点を有する選手を上位とする(2番目の大会での得点)

(4) 2番目の得点が同点の場合、2番目の得点のDスコアの高い選手を上位とする

(5) さらに同点の場合、2番目の得点のEスコアの高い選手を上位とする

(6) 以下、(3)(4)(5)の手順にそって次の得点で比較する

(7) (6)においても同点の場合は、同順位とする

(8) Dスコアにスッティックボーナスは含まないものとする

(2)女子

① 2025年度開催の下記大会の成績により出場権を与えます。

② 年齢制限は12歳以上(2025年12月31日までに達する者)

◆団体選手権

表3 女子団体選手権通過基準		チーム数
①	下記3大会における得点を順に並べ上位15チーム 「全日本ジュニア体操競技選手権(1部)」 「全日本学生体操競技選手権(1部・2部)」 「全日本シニア体操競技選手権」 ※大会結果にもとづいて6-6-3方式で通過順位を決定する	15
②	強化選抜チーム * ナショナル選手、シユニアナショナル選手によって編成する 9月7日開催のジュニアナショナルトライアウト終了時点において選抜チームが編成できない場合は、①次点チームに 出場資格を与える	1

* チーム登録選手は8名まで(補欠を含む)とする

* ①の大会において、団体戦が成立しなかった場合(チーム解体)は選出対象としない

- * ④強化選抜チームが編成できない場合は、①の次点のチームに出場権を与える
- * 同点の場合のタイブレークは、FIG 競技規則に準ずる

◆種目別選手権

表4 女子種目別通過基準各種目予選24名)		出場者数
①	シード選手 第53回世界体操競技選手権種目別決勝進出者最大2名 * ¹ * 1を除く、日本代表選考競技会ランキング上位最大1～3名	最大3名
②	種目別ランキング 日本代表選考競技会ランキング(①を除く) 上位10名 各連盟競技会ランキング 上位8名(日本代表選考競技会ランキンギング者を除く)	18名
③	映像審査 映像審査への参加は、下記参考基準得点を満たすことを条件とする 跳馬:13.200 段違い平行棒:12.500 平均台:12.500 ゆか:12.500 跳馬は2跳躍の平均点を対象とする(加点あり)。	6名

ランキング対象大会

日本代表選考競技会

- ① 第79回全日本体操個人総合選手権 予選
- ② 第79回全日本体操個人総合選手権 決勝
- ③ 第64回 NHK 杯体操

各連盟競技会

- ④ 2025全日本ジュニア体操競技選手権大会1部
- ⑤ 第79回全日本学生体操競技選手権大会1部・2部
- ⑥ 第58回全日本シニア体操競技選手権大会

* 同点の場合のタイブレーク

- (1) 得点が同点の場合、E スコアの高い選手を上位とする
- (2) E スコアが同点の場合、D スコアの高い選手を上位とする
- (3) さらに同点の場合

各連盟競技会においては、同順位とする

日本代表選考競技会においては、次に高いと得点(2番目の得点)を有する選手を上位とする

- (4) 日本代表選考競技会において、2番目の得点が同点の場合 E スコアの高い選手を上位とする
- (5) さらに同点の場合、2番目の得点の D スコアの高い選手を上位とする
- (6) 以下、(3)(4)(5)の手順にそって次の得点で比較する
- (7) (6)においても同点の場合は、同順位とする

※ 詳細は、4月18日付「第79回全日本体操団体・種目別選手権出場枠(女子)」参照のこと

※ 映像審査申込み前に各ランキングにて資格を得た選手に辞退者が出ていた場合、それぞれのランキンギングから繰り上げる

【参加条件】

- ① 2025年度本協会への選手登録を済ませた者とします。
 - ② 団体選手権において、外国籍選手の出場はチーム1名までとします。
短期ビザではない滞在証明書の写し(またはそれに準ずるもの)を提出して下さい。
- * なお、本会によって更なる書類の提出を求める場合やその内容から出場を認めない場合もある

4. 競技に関する通達事項

(1) 適用規則

男子: 2025年版採点規則および体操競技情報最新号を適用

女子: 2025年版採点規則および体操競技情報最新号を適用

競技規則は2025年版FIG競技規則に準ずる。

(2) 団体競技方法(2025年版FIG競技規則に準ずる)

- ① 各組2チームずつ編成し、1名ずつ交互に演技を行う FIG 決勝方式とします。
- ② 男女とも6名の選手の内、3名が演技を行い、その合計得点を得点とします。
- ③ 6名の選手の選出およびオーダーの提出は OM 前までに行って下さい。
- ④ 演技を行う選手の申告は、各ローテーション開始の挨拶を行う際に、変更の有無にかかわらず、D1審判に行って下さい。

(3) 団体班・組編成について

① 男子

男子団体選手権通過基準上位7チームおよび②1位を2班とします。1班は下位5チームおよび通過基準②2位、③、④の計8チームにて編成します。

1班2班ともに通過順位順により開始種目を決定します。

U20ナショナル選抜チームは、オープン参加とします。

1班開始種目(白抜き数字は表1団体選手権通過基準)

開始種目	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬
前半グループ	8位	10位	12位	③
後半グループ	9位	11位	②2位	④

2班

開始種目	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬
前半グループ	1位	3位	5位	7位
後半グループ	2位	4位	6位	②1位

② 女子

女子団体選手権通過基準上位8チームを2班とします。1班は下位7チームおよび強化選抜チームの計8チームにて編成します。

1班2班ともに通過順位順により開始種目を決定します。

強化選抜チームは、オープン参加とします。

1班開始種目(白抜き数字は表3団体選手権通過基準)

開始種目	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか
前半チーム	9位	11位	13位	15位
後半チーム	10位	12位	14位	②

2班開始種目

開始種目	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか
前半チーム	1位	3位	5位	7位
後半チーム	2位	4位	6位	8位

(4) 団体選手権競技進行について

- ① 団体決勝は、男女ともに原則として1種目27分のローテーションで競技進行します。
- ② 男女とも競技直前のアップ時間は、チームごとに行い男子は150秒、女子は90秒(段違い平行棒は150秒)とします。男女ともゆかについては両チームの同意があれば男子300秒女子180秒を合同で行うことを認めます。
- ③ 男女とも、競技は開始種目では前半チーム後半チームの順に一人ずつ交互に演技をします。2種目は後半チーム前半チームの順に演技し、以下ローテーションごとに前半後半チ

ムの順が入れ替わります(最終種目では上位チームが後に演技)。

- ④ ラインナップは前半チーム後半チームも審判団の前に整列してください。

(5)種目別選手権予選競技方法

- ① 男女とも予選は抽選により編成します。
② 男子6種目女子4種目に分け、組を編成します。

女子において、予選出場者が25名を越えた場合、3名までは7人の組を3組、4名を越えた場合は5組目にて編成します。

- ③ 男女ともシード選手は、決勝競技のみとします。
④ 予選では複数種目に出場する選手が円滑に競技を行うことができるよう演技順を抽選します。ただし、正ローテーションとは限りません。

(6)種目別選手権決勝競技方法

- ① 男女とも決勝進出はシード選手を含み8名とします。リザーブは2名までとします。
② 決勝は通過順位の低い選手から演技を行い、4名ずつ前半・後半の組編成とします。シード選手は後半の組に編成します。シード選手はAを上位者とし世界選手権種目別決勝での順位により演技順を決定します。
③ 決勝のリザーブ選手は、各種目の各ブロック開始10分前まで準備を行って下さい。出場することになった場合の演技順は、順位の低い選手として演技を行う事とします(最初に演技を行う)。
④ 予選において同点の場合は、FIG タイブレークルールを適用します。男子は通過基準によるタイブレークルールを準用します。(上記、種目別通過基準参照)
⑤ 決勝競技は以下のブロックごとで競技をします。

ブロック	男子	女子
第1ブロック	ゆか	
第2ブロック	あん馬	跳馬
第3ブロック	つり輪	段違い平行棒

前半種目表彰・器具転換		
第4ブロック	跳馬	平均台
第5ブロック	平行棒	ゆか
第6ブロック	鉄棒	

後半種目表彰・ありがとうラン／ファンイベント		
------------------------	--	--

(7)種目別競技の進行について

- ① 種目別予選は男女ともに原則として1種目27分のローテーションで競技進行します。
② 種目別決勝はテレビ中継により、男女交互演技を行うなど進行に調整が入る可能性があります。
③ 男子種目別予選・決勝競技直前のアップ時間は一人50秒とします。
④ 女子種目別予選は3分、決勝は前半後半ともに2分、段違い平行棒は一人50秒とします。
⑤ ラインナップは前半に後半組も審判団の前に整列してください。

(8)会場およびサブ会場

- ① 本大会では、演技台(ポディウム)を設置しません。
② サブ会場は男子6種目・女子4種目を設営します。
③ 炭酸マグネシウムは各所属で持参し使用してください。
④ 女子「ゆか」の競技が行われていない競技中に会場内にBGMを流します。

(9)器械器具

- ① 本大会はセノ一社製(2025製品カタログ版)を使用します。
② 跳躍板について

- * 「跳馬」は、ハードタイプ(3-3-2)・ソフトタイプ(3-1-2)を使用します。
(注)バネの取り外しはできません
- * 「平行棒」、「段違い平行棒」、「平均台」は、ソフトタイプを使用します。
- ③ スポッターマットについて
 - * 男子は、本大会では使用しません。
 - * 女子は、2025年版規則に則って使用します。
- ④ テンションコントロールセンサー(張力計、TCS)について
 - * TCS の使用については、以下の種目に設置します
男子: つり輪、鉄棒
女子: 段違い平行棒

(10) 女子ゆかの音楽について

下記フォームよりそれぞれ提出してください。

◆ 団体 ゆか 音楽アップロード先

https://jpngym-my.sharepoint.com/:f/g/personal/akiko_akena_cm_jpn-gym_or_jp/Eh8Y7woROThPnqGIQghTwp4BwCwLuJAhQzOY8pU5kWXqZQ

◆ 種目別 ゆか 音楽アップロード先

https://jpngym-my.sharepoint.com/:f/g/personal/akiko_akena_cm_jpn-gym_or_jp/Eh8Y7woROThPnqGIQghTwp4BwCwLuJAhQzOY8pU5kWXqZQ

◆ JASRAC

https://jpngym-my.sharepoint.com/:f/g/personal/akiko_akena_cm_jpn-gym_or_jp/Et_cLDOETXVErgbwvaErG2cByQp940lfOaTDO4S5BdqRFQ

団体選手権に出場する所属の選手は全員提出してください。

団体選手権および種目別選手権の両方に出場する選手は2回提出してください。

データのエラーに備え、各自 CD または USB を準備し携行してください。

媒体につき音楽データ 1 曲のみとし、通常の再生機器で再生できるものを大会用として準備してください。

5. AD(Accreditation)カードについて

本協会へ役員、指導者または選手登録を完了した方のみに AD カードは発行されます。会場では必ず見える位置に着用をお願いします。

各所属への AD カードの発行枚数と条件は、以下の通りとします。

役 職		配布枚数
部 長	男女の選手が出場のチームでも1名分とします。 会場練習時は競技エリアに入ることができます。 競技中は選手団席での観戦となります。	1
監 督	男女の選手が出場のチームの場合、合計で2名分発行します。 会場練習時は競技エリアに入ることができます。 競技中は選手団席での観戦となります。 ただし、JSPO 公認コーチ3の資格を持たないアシスタントコーチが競技エリアに入る場合、監督者として競技エリア外で待機してください。 なお、アクシデントによる対応やインクワイアリーの提出が必要な場合、競技エリア内に入ることができます。	1

コーチ	◆ 团体 競技中に競技エリアに入れるコーチ AD の申請は2名とします。原則として、JSPO 体操競技公認コーチ3資格を持つ者とします。 ただし、2名のうち1名は資格を持っていない者（学生、生徒、選手）でも AD 申請を可能とします。これらのコーチは「アシスタントコーチ」とし、インクワイアリー等ルールに基づく競技中の申請については、単独では出来ないものとします。（コーチ3資格保持監督やコーチが行ってください）	2
	◆ 種目別 コーチとアシスタントコーチを合わせて最大出場選手数分を配布します。原則として、JSPO 体操競技公認コーチ3資格を持つ者とします。ただし、出場選手数等により、コーチの人数を確保するために、資格を持っていない者（学生、生徒、選手）でも AD 申請を可能とします。これらのコーチは「アシスタントコーチ」とし、インクワイアリー等ルールに基づく競技中の申請については、単独では出来ないものとします。（コーチ3資格保持監督やコーチが行ってください） ※ コーチ3資格保持監督やコーチはアシスタントコーチの統括し、責任を持ってその者をサポートしなければならない。	
アシスタントコーチ	JSPO 公認コーチ3以上の資格を持たない指導者、学生および生徒、選手	選手数
選手	団体：正選手6名およびリザーブ選手2名とします。 種目別：出場選手分	8
トレーナー	男女の選手が出場のチームの場合、合計で2名分発行します。 競技中は競技エリア外で待機してください。治療などを要する場合は競技エリア内に入ることができます。	1
撮影者	写真撮影者1名 動画撮影者1名 男女出場する所属も1所属2枚まで 要項 p9 10項参照	撮影許可証のみ

6. 表彰

- (1)男・女団体優勝チームには優勝杯を授与します。
- (2)団体、1位～3位にメダル（正選手6名）と賞状を、4位～6位には賞状を授与します。
- (3)種目別、1位～3位にはメダルと賞状、4位～8位には賞状を授与します。
- (4)同点は同順位として表彰します。
- (5)賞金について、男女とも団体優勝チーム、種目別優勝者に授与（検討中）

7. 保険について

本協会の費用負担にて、参加選手に対して大会期間中スポーツ傷害保険をかけます。発生した傷害の補償については東京海上日動の国内旅行傷害保険（団体）の範囲とします。

死亡・後遺障害 : 14,950,000 円

入院保険金日額 : 5,000 円

通院保険金日額 : 3,000 円

※ 大会参加者は健康保険証を持参してください。

8. ドーピング検査について

- (1) 本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会となります。出場者は大会参加申込が完了した時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなします。また、18歳未満(大会時)である場合は、本大会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。
- (2) 本大会出場者は、本大会において実施されるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否、回避、検査員の指示に従わない、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるのでご留意下さい。
- (3) 血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技終了後2時間の安静が必要となりますのでご留意ください。
- (4) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、以下ウェブサイトで確認してください。

(公財)日本アンチ・ドーピング機構(JADA) :

<https://www.playtruejapan.org/>

- (5) 本大会は治療特例(TUE)事前申請が必要となる競技会として指定されております。TUE 事前申請については以下ウェブサイトで確認して下さい。

JADATUE ホームページ:

<https://www.playtruejapan.org/medical-staff/>

- (6) 本大会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携行して下さい。親権者の同意書フォームは、以下ウェブサイトからダウンロードできます。

日本アンチ・ドーピング機構(JADA)「18歳未満競技者親権者 同意書」:

https://www.playtruejapan.org/entry_img/u18_template_20201116.pdf

- (7) 18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみです。当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。

ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合は、検査後7日以内に JADA 事務局へ郵送にて提出して下さい。

9. 演技写真撮影および SNS による広報活動について

- (1) 記者会見、ミックスゾーン等の取材活動にご協力下さい。
- (2) 本大会は記録のため写真および映像を撮影します。本協会が定める競技者規程第8条に従い、各選手の肖像利用に関しては大会参加申込みにより了解を得たものとします。
- (3) 出場選手の記録のため、本協会指定の写真販売業者が撮影した画像を出場選手とその関係者に限定して販売を行います。
※ 大会期間中、総務委員会へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます。
- (4) 競技普及や体操への人気拡大を目的として、本協会が定めるソーシャルメディア運用管理規程にもとづく画像、映像の撮影やインタビューを依頼することがあります。撮影した画像、映像は協会ソーシャルメディア(公式 HP、Twitter、Facebook、Instagram)に掲載する可能性がありますので、ご協力をお願いします。
※ 大会期間中に本協会が撮影した写真や動画について、今後の本協会主催の事業(イベントプログラムやグッズ販売)で使用することができます。使用する写真や動画の確認が必要な所属は申し出てください。
※ 大会期間中、本協会へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写

真掲載や利用を禁止することができます。

(5)記者会見、ミックスゾーン等の取材活動にご協力下さい。

10.撮影許可証について

- (1)所属あるいは選手自身の記録のため各所属に撮影者用撮影許可証を配布します(要項 p7 5項撮影者、参照)。撮影者は、申込み時に登録をしてください(保護者等の申請はできません)。
- (2)関係者(保護者等)でカメラでの撮影を希望する方は、所属に申請フォームを送ります。フォームにて申請した方は、SIDにて現金をお支払いください(1,000円)。
- (3)一般的撮影許可証は、スマートフォンのみとします。関係者(保護者等)でスマートフォンのみで撮影を希望する方は、座席チケットと一緒に「撮影許可証」を購入してください。
- (4)カメラを使用しての撮影許可証は、指定された座席にて限定販売を行います。

11.参加申し込み

期　　日：2025年10月21日(火)～10月27日(月)15:00まで

※ 女子種目別の申し込みについて、シード選手の確定が10月24日となります。種目別予選出場有資格者を協会HPにて公表しますので、ご確認の上、〆切までに申し込みをお願いします。

申込方法：大会申込は以下 URL から手続きをしてください。なお、参加申込終了後に棄権した場合でも参加料の返金は致しませんのでご了承ください。

(公財)日本体操協会 会員登録管理システム：<http://jga-web.jp/>

参 加 料：

団 体： 50,000円

種目別： 20,000円

* JASRAC(日本音楽著作権協会)負担金 女子選手のみ1名につき500円

* 女子団体に出場する所属は、参加料の振込時に入金してください。

* 女子種目別「ゆか」に出場する選手は、会場にて徴収します。

連絡先：〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 8階
(公財)日本体操協会

「第79回全日本体操団体・種目別選手権 参加申込」係

jigyo@jpn-gym.or.jp

抽選日：2025年10月28日(火)非公開 予定

12.帯同審判員の派遣について

男女とも団体選手権に参加する所属は、1種審判資格を有する1名の審判員を派遣してください。

派遣できない場合には、審判員委嘱費として70,000円を納入してください。

帯同審判は、種目別予選競技・団体決勝競技の審判を行います。

種目別決勝競技の審判は行いません。

審判員に関する費用については所属で負担してください。

※届け出期限 2025年9月19日(金)

下記URLから入力をしてください。

本部依頼する場合も、入力をお願いします。

◆ **帯同審判員入力フォーム：**

<https://forms.gle/pSJyENcdh64kUmwd6>

13. その他

(1) 所属の車両乗り入れについて

本大会は出場選手の輸送などを目的とした各所属の車両の乗り入れはできません。体育館地下の有料駐車場を利用するか、城南立体駐車場(無料、夜間留置可・アリーナ HP で案内)をご利用ください。

(2) 競技時程・会議時程等は、参加者及び関係者に追って連絡することとします。

(3) 種目別決勝競技に出場した選手は、表彰式後のイベントに参加できるよう余裕をもって移動の準備をお願いします。

(4) 上記、出場資格以外の記載内容については、若干変更される場合があります。

以上